

親と祖父母 会話大切に



@ 大阪

「じいじ、ばあばと一緒に子育て」をテーマにした「よみうり子育て応援団@大阪」(読売新聞社主催、住友生命保険協賛)が15日、大阪市中央区の大府立男女共同参画・青少年センターで開かれ、祖父母世代の関わりについての助言に、参加者約80人が聞き入った。

タレントの大東めぐみさんの司会で、恵泉女学園大



教授の大日向雅美さん、女性ライフサイクル研究所講師の津村薫さん、NPO法

人エガリテ大手前代表の古久保俊嗣さんが、事前に寄せられた悩みに答える形で意見を交わした。写真。

「親と祖父母で子育ての方針が違う」という悩みに、津村さんは「親は祖父母に『しないで』と伝えるより、してほしいことをお願いする」といいとアドバイス。古久保さんは「親が方針を決め、祖父母との会話を心がけて」と呼び掛けた。

2歳の長男を持つ大阪府住吉区の会社員藤木信彰さん(35)は「両親に長男の面倒を見てもらっていることを当たり前だと思っていた。みなさんの話を聞いて、もっと感謝しようと思っただ」と話していた。

読売新聞

2013年(平成25年)6月16日(日曜日)